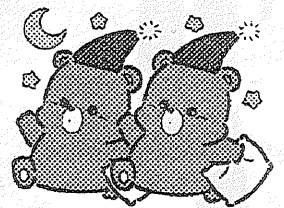


「アトピー性皮膚炎の原因、予防、治療」  
 順天堂大学皮膚科教授 小川秀興先生  
 第十八回わかりやすい医学講話



アトピー性皮膚炎は、花粉症、喘息、じんま疹などに関係が深い花粉やダニなどが原因となることが多いアレルギー性の病気です。

原因

①体質  
 アトピー性皮膚炎で悩む人は家族内にアレルギー性の病気の人が多く、遺伝的な体質が原因の一つと考えられます。

②環境

幼児期には、タマゴなどの食品が原因となることが多いが、十才以上になると、ダニ、スギ花粉、カビなどが多くなって来る。地面も舗装部分が多くなり花粉が舞う原因となっている。

③皮膚の保護作用の低下  
 家もエアコンの普及、床にジュエータンが多いことなどから、カビやダニの量が増えている。

石鹸やシャンプーなどの体の洗浄剤が強力になり、皮膚より脂を奪い、アレルギーの原因物質が皮膚から浸透しやすくなっている。

予防

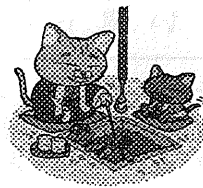
①部屋を清潔に

床はジュエータンを避け、木、フローリングとし、段差もなくして拭き掃除がしやすいようにする。

②食事に注意  
 離乳食を急ぐと、まだ幼いうちに卵などのアレルギーを起こしやすい物を食べるようになる。原因となる食物に注意するが、オーバーに考えると何も食べられなくなるので食事指導は医師の指導に従って下さい。

③皮膚を健康に

入浴などで皮膚の清潔を保つことは必要だ。  
 洗剤は使用感にこだわらず、皮膚を傷めないものを使用する。  
 適当な日光浴をするなど皮膚を自然な状態に保つことを考える。



治療

①原因を考えられるものをできるだけ取り除く。

②予防対策をできるだけ実行する。

③ステロイド剤の軟膏、クリームなどを効果的に使う。

④光線療法  
 日光のうちの一部の波長の光線を照射することで治療の効果があつた。

まとめ

アトピーにさよならするための八つの注意

一、シャンプー、リンス、ヘアー&スキン化粧品に注意

二、衣類、洗剤、洗濯機に注意

三、掃除機と掃除法に注意

四、部屋のレイアウト、冷暖房機の取扱いに注意

五、離乳食は早まらぬよう、あせらぬように、食事制限は専門医の指導で

六、外用ステロイドの恐怖症にならぬように

七、症状、治療の自己診断、民間療法にはくれぐれも注意

八、皮膚は清潔に、日光浴は積極的

に、効果的に

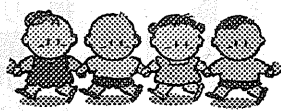
この講演会は足柄上医師会主催で平成十二年9月30日(土)

午後二時～三時三十分

南足柄市文化会館大ホールで一般住民のみなさまを対象に行われました。(入場無料)

インフルエンザ  
 予防接種はじまる

インフルエンザの予防接種の効果についてはまだ疑問が残っていますが、症状軽減の効果はあるように感じています。



実施方法がかわり小児は(十三才未満)一〜四週間以上あけて二回、成人は一回となった。

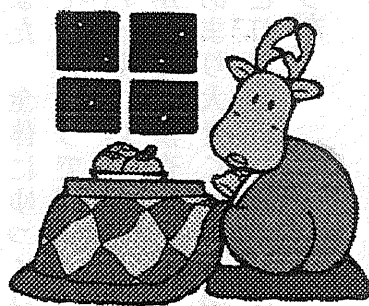
当院でも実施しております流行するまでに抗体を上げておかないといけませんので、十二月上旬までには接種を終えて下さい。

11月・12月の休診日

(日曜・祭日)

水曜・土曜・第一火曜午後)

12月29日(金)～  
 1月3日(水) 年末年始  
 1月4日(木) 午後  
 休 診



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。  
 ☆受付けからのお願い  
 月初めには必ず保険証を  
 受け付けにお出し下さい。  
 診察券は毎回お持ち下さい。